

集落が共同で農業と住みよい地域をつくろう

組織名 大持・小埴生地域資源保全会

位置： 山陽小野田市埴生

対象面積： 28 ha

◆ 地域の現状等

当地域は市の最西端に位置し、糸根川上流の大持集落と下流域にある小埴生集落から成る地域で、大持地域は集落近代化事業(昭和56年)により圃場整備がなされて30年、小埴生地域は未整備地区である。高齢化、過疎化が地域の課題。両地区とも地域ぐるみで地域資源保全向上活動にとりくんでいる。

◆ 活動内容等

大持・小埴生地区は1つの糸根川水源と、3つのため池を営農組合で管理し、農地(水田畑地)を管理し、農地・水・環境向上事業は営農組合、自治会、老人クラブ、子供会が共同して活動を推進している。

◆ 効果

事業発足以来、地域内での協同精神と地域内の融和が進展して来た。農道や、ため池管理が舗装(砂利舗装)が進んで便利となり、水路、畦畔の草刈りや、泥上げによって、機能の維持向上が進んだ。小学生1人と少子化がすすんで来ているが、環境美化活動に老人クラブの積極的参加が進んでいる。



◆ 将来の展望

近年多発した洪水災害で農地畦畔の崩落や、水路、河川の侵蝕などが多発したが、本会の活動で点検調査と改修等を協同で推進し、また、集落交流花壇の手入れなど、環境美化活動も活性化してきました。

ふるさとの自然を次世代へ

組織名 ななかん隊

位置： 山陽小野田市山野井

対象面積： 17.8ha

◆ 地域の現状等

七日町自治会単独の組織で、世帯数は 32、内農業者 21、総人口 101 人で活動しています。65 才以上の高齢者は 35 名で、高齢化が進んでいます。この自治会に農事組合法人が、4 年前に設立され、農地の有効活用が進められています。



◆ 活動内容等

1. 農用地、開水路、農道の保全等を農業者を中心に行っています。
2. 景観形成、生活環境保全として、農道の草刈り、ゴミ拾い、れんげや菜種の作付けなどを、非農業者、子供達も含め全構成員で行っています。



◆ 効果

1. 取組前
 - (1) 水路の保全で費用が発生する案件は対策が遅れがちでした。
 - (2) 農道の補修はほとんどされていませんでした。
 - (3) 子供まで含めたゴミ拾いなどの行事はこれまでありませんでした。
2. 取組後
 - (1) 水路補修の予算が使える、早目の対策ができました。
 - (2) 農道の修理も同様です。
 - (3) 子供や女性も含めた全構成員で環境向上に活動しています。



◆ 将来の展望

「ふるさとの自然を次世代へ」引継いでもらうために、現在 50 才代、40 才代の構成員への働きかけに心掛けています。この補助金が終わっても続けられる素地は出来たと思われま



地域が協調し過疎化・限界集落化を阻止しよう

組織名 もりひろちいきほぜんかい
森広地域保全会

位置： 山陽小野田市厚狭森広

対象面積： 21 ha

◆ 地域の現状等

平成9年度に圃場整備事業を完了したものの、その後、家屋を市街地に新築又は転出する事象が出始めた。関係地権者の圃場は、預託耕作地以外は、良好管理がままならなくなる事は自明であります。

そのことは1つに、農地の荒廃に留まらず過疎の促進、ふるさとの荒廃へと繋がると思われます。平成19年度から取り組んでいる、農地・水・環境保全向上対策事業は、景観向上、生態系保全、水路、農道等の協同作業による保全管理により、前途の懸念解消に打って付けであると確信しています。

◆ 活動内容等

当地域保全会は、三自治会の構成で、農道砂利敷設～草刈り・素堀を含む側溝管理・水路管理保全・小河川護岸改修・減反圃場管理・景観向上花壇管理・ホタル生息保護等の協同作業を実施しています。



◆ 効果

全圃場休耕者の農地保全管理や関連農道が一人対象の場合、草刈り等の管理が有効に行えない事が多かった。又、個人では手に余る様な農道・水路の補修管理や生体系の保全・景観向上作業等も協同の力により達成できた。

◆ 将来の展望

産業・交通・医療・教育・文化・・・大部分の面で過疎が感じられる地域で将来の展望を見出す事は困難ではありますが、この環境向上交付金事業の取り組みで育んだ協同の力により、「ふるさと」を守る気持ちを育てていきたい。



上野の農業資源を有効かつ美化に向けて頑張ろ

組織名 上野環境保全会

位置： 美祿市伊佐町上野

対象面積： 23 ha

◆ 地域の現状等

上野地域については過疎化、高齢化が進み、農地や施設の保全管理が困難な状況下であり、平成 15 年度地区で圃場整備完成を契機に農家・非農家が一体となり、何とかしなければという矢先に、平成 19 年 5 月より、この施策が出来るということで、有効利用しようということに相成りたった次第です。

◆ 活動内容等

上野営農組合が2つのため池と3集落の営農及び農地を管理しておりますが、農家だけに頼るのは限度があり、非農家、高齢者クラブ、婦人会、子供会を含めて地域の環境美化につとめている次第です。

◆ 効果

最初は上野保全会の一部の者だけでやるのではないかと心配していましたが、今では自治会や高齢者、婦人会など多数の方々が参加しています。地域全体で環境を守っていこうとする意識や農村環境への関心が高まってきたのではないかと考えています。



◆ 将来の展望

今後、この施策を更に発展的に展開していくことにより、農家、非農家を問わず地区民が一体となり、これからの農村の食の安心、安全、又地産、地消に取り組んで行けばと考えております。又、本施策を有効活用して開水路の泥上げや休耕田にひまわり、コスモス等を植え景観づくり、又野菜作りにも勢を出して、環境美化と地区民の永住化につとめたいと思っています。

地域が一体となって！

組織名 河原百笑会

位置： 美祿市伊佐町河原 対象面積： 25.9 ha

◆ 地域の現状等

当地区は回りを石灰石に山にかこまれた小さな盆地で、総面積 30ha の農地を昨年設立した農業法人、睦の里河原を中心に個々保全管理につとめております。

◆ 活動内容等

現在、大小併せて4つのため池を地権者、農業者を中心に管理をしていますが、それに付帯する作業として地元の消防団が環境保全に協力又自治会を中心に特に其の中の婦人部が花壇の整備、子供会によるカン、ビン拾い等環境美化に活動しております。



◆ 効果

最初は活動内容に制約があり希望する事が出来ないと思っておりましたが、現在は地域の大多数が何らかの形で参加しており、県道、市道から見ても荒廃地もなく以前にくらべて環境が整備されてきていると思います。

◆ 将来の展望

農地と其の周辺的环境整備美化に向けての取り組みは地域の全員が参加する事が望ましいわけで、一層の効果があがる様に活動出来ればと思います。

私達は地域ぐるみの共同活動と 環境保全に取り組み水と農地を守ります

組織名 しもたしろかんきょうほぜんかい
下田代環境保全会

位置： 美祢市於福町下田代

対象面積 15.24ha

◆ 地域の現状等

当地区は美祢市中心部より、10 km離れた山間に位置します。

平成 19 年度に本対策が実施されたのを機に活動している、ミニ集団です。当初予想していた高齢化が近年になって進んできており、深刻な課題をかかえている現状です。

◆ 活動内容等

年間主要活動として、中山間事業と連携しながら、河川の清掃、鳥獣害防護柵の管理、地区花壇の花植え及び、環境美化活動等構成員全員が出来るだけ参加し、体力に合った活動をしてもらっています。



◆ 効果

女性の参加者が少ない為、女性も参加出来る様な作業活動を取り入れて参加してもらっています。また非農家の方も農業の仕事を理解してもらい、環境整備にも協力してもらおう事が出来るようになりました。



◆ 将来の展望

今後、更なる高齢化が進むと、農地を守っていく事が不可能になります。活動出来る構成員も限られてくる為、草刈り作業の省力化として防草シートの導入、又草刈り作業の組織化、他地区との共同作業化等が必要と考えます。



共同作業で地域の力環境意識の向上

組織名 豊田前一区環境保全

位置： 美祿市豊田前町麻生上

対象面積 11.8h

◆ 地域の現状等

豊田前一区集落においても過疎化、及び高齢化が進み農地の保全管理が困難となりつつあり、加えて圃場未整備等も重なり農地の管理が非常に厳しさを増している。しかも、大農機具等は、農家毎に購入されており経営的にも非常に問題がある。

◆ 活動内容等

- 1 荒廃農地をこれ以上増やさない事を第一の目的とした。
- 2 農家、非農家により「ひまわり」「アジサイ」等を植栽し環境整備に努めた。
- 3 排水路、用水路、農道の整備に努めた。
- 4 ため池のパイプライン保守管理をした。



◆ 効果

基本的には大きな意識の変化は無いが、個別には共有する農道の補修等(バラス入れ)今まで難しかった事ができて大変喜ばれた事が印象に残っている。

◆ 将来の展望

後継者になる者がおらず、現状維持も困難とおもわれる。

「豊かな保々」をみんなで作ろう

組織名 水土里ネット保々

位置 美祿市豊田前町 対象面積 25ha

- ・ 地域の現状

当地区は小屋川の源流の一部にあたる山間の 25 戸の小集落です。ほ場整備は昭和 59 年度に完了するも、農業者の高齢化、担い手不足等による農地の荒廃や集落機能の低下が懸念され、集落活動の円滑な実施が年々困難となってきました。

- ・ 活動内容等

基礎部分、農地・水向上対策については、主に中山間地域等直接支払交付金事業で取り組み、任意の営農組合を設立し担い手不足の受け皿としています。また、省力管理等を目的とした「山口型放牧」にも取り組んでいます。農地・水・環境保全事業では、各団体等の協力を得て農村環境の保全及び質的向上を図る活動を実施しています。

- ・ 効果

集落の全員が活動に参加することにより、集落機能の低下を防ぎ地域での相互扶助、自治活動の維持ができました。また環境への意識が高まり、集落の景観・環境の保全等の効果が得られています。

- ・ 将来の展望

この対策を更に発展させ、山間の当地区の集落が生き残って行くための地域の目指すべき方向をみんなで話し合い目標を定めたいと思っています。



いつまでも安心して住める地域にしよう！

しよくりゆうちいきかんきようほぜん かい
組織名 植柳地域環境保全の会

位置:美祿市東庄長

対象面積:31ha

◆地域の現状等

当地域は、典型的な中山間地域で、毎年 1 歳ずつ確実に高齢化が進んでいます。十数年前に圃場整備を終えていますが開水路等の老朽化が進み、開水路の破損・ズレなどにより水漏れなどが発生し、用水の不足、農地の排水等に大きな影響を及ぼしています。そこで、この対策を利用して第 1 期(平成19年～23 年)は開水路の改修・補修をテーマに取り組んできました。

◆活動内容等

この対策は地域 2 つの河川水系の開水路が対象となっており、水管理者より不具合箇所を出してもらい 9 人の役員にて優先順位を決め開水路の改修・補修を行っています。また、地域のみなさんによって農地畦畔・農道等の草刈り、野猪防護柵の管理、2 つの河川の清掃、施設の花植えなどを行っています。

◆効果

この対策の 4 年間の効果として、開水路の不具合箇所の過半数の改修・補修は終了し、農地への水が有効に使用できるようになりました。また、さまざまな活動により集落のみなさんの交流・地域に対する意識の向上など得るものが沢山ありました。

◆将来の展望

今後、未だ開水路の補修・改修の必要箇所が沢山有りますので引き続いて“開水路の改修・補修”をテーマに活動していきたいと思います。また、高齢になっても農業がし易いように畦畔管理にティフ・ブレアの植栽(一部植栽済)・農道舗装なども実施していきたいと思います。そして、いつまでも安心して住める地域を目指して地域住民一体となつていろいろな活動を実施していきたいです。



多様な生き物が生息する田舎の維持

組織名 エコ三光

位置： 美祿市大嶺町西分杉原・中村・嘉木区(三光地区)

対象面積： 16.7ha

(現状及び活動内容)

本活動組織では、基礎部分の活動は農業者が、農地・水向上活動は農業者・自治会。農村環境向上活動は子ども会が中心となって行っている。

主な担い手の年齢構成等は下表の通り。

構成員	人数(人)	平均年齢(歳)	65歳以上の割合(%)
農業者	10	55	45
エコ三光	10	53	20
自治会	28	56	45
子ども会	10	10	0

高齢化を踏まえた概ね10年後の推定

10年後に、現在65歳以上の担い手が活動に参加できなくなると仮定した場合、本活動組織では20%の活動人員が減少すると見込まれる。(減少率が少ない見込み根拠は農業法人の拡大を考慮しています。)



(効果)

結論から言うと、「理屈よりもまず実行。確実に将来構想の実現へ近づいている。」なによりも、農業者・非農業者・子ども会が自発的にかつ、積極的に各種の行動をおこなっている。

(結果として本事業に参加して予想以上に集落の活性化や、結束力が生まれた。)

(共同活動の将来像)

(1) 当地における農地・水・環境が有する社会共通資本としての役割

(2) 将来展望

農業法人三光が企画・運営等のリーダーシップにより現状維持が図られ将来も現状維持またそれ以上に充実している。

(子ども会の参画での郷土愛の啓蒙そして定住就職・定年者等の雇用拡大)

- 1) 食料の安全・安定・安心に必要な水の供給
- 2) 多様な生き物が生息する地域の維持
- 3) 生きがいや、ゆとり、など「田舎の維持」
- 4) 地域文化(お祭り等)の伝承継続
- 5) 農業体験をさせ継承と啓蒙

4. 地域農業の担い手の育成・確保

活動組織において主要な役割を果たす農業者のうち、地域農業の担い手となる農業者の育成は、活動組織の体制の強化につながることから、担い手の育成・確保に努める。

具体的な目標は下表の通り。

- 1) 活動体制の見直し 農事組合法人三光がリーダーシップを発揮し活性化する。
- 2) 定年者・新卒者の地元企業就職の斡旋や・Uターン者などの法人積極雇用。
- 3) 女性の農業参画の企画(野菜栽培を法人三光が主体で企画運営する。)



地域が連携して環境保全を・・・!!

にしあつちいきかんきょうほぜんかい

組織名 西厚保地域環境保全会

位置：美祿市西厚保町 対象面積：118ha

◆地域の現状

西厚保町は美祿市の南西部に位置し、中国自動車道的美祿西インターチェンジを有する地域で、「厚保くり」の産地です。平成14年に7つの換地区からなる県営圃場整備事業を完了した。しかし、高齢化が進み、中小農家を中心に耕作維持が難しくなり、中核農家や特定農業法人等へ農地を預ける動きが加速している。そんな中、平成19年から本事業に取り組み、地域ぐるみで農地の保全に努めている。

◆活動内容等

平成19年に6つの集落が参加して西厚保地域で一本化された活動組織を立ち上げた。実際の活動は、集落を単位とし地域の実情に合った取り組みを行っている。ため池管理組合のある集落や特定農業団体・農業生産法人のある集落、機械等の共同利用組織を有する集落等の特徴を生かしながら取り組んできた。その後3つの集落が参加し現在では、9集落で実施している。

◆効果

集落単独で実施するよりも、地域全体で取り組むことにより情報の共有ができた。一方、集落の実情に合った取組を尊重してきたことで、無理なく事業を導入することができたと思う。高齢化とともに共同作業が難しくなる中、当事業を活用することで、周辺環境の整備を行うなどの取り組みができた。

また、ある集落からは、景観形成作物の作付けと合わせた交流活動を実施し地域の連帯が深まったとの報告を受けている。



◆将来の展望

集落単位の取組と町単位の取り組みの重層的な取り組みで地域の環境保全活動がもっと前進することが好ましい。また、そのためには町内の未参加集落への取り組み拡大に努めたい。



世代を超えた情報交換の確立

○組織名:赤郷地域環境保全会

○位置:美祢市美東町赤郷地区(美祢市の最北東部に位置する)

○対象面積:139.6ha

○地域の現状

当地域は、美祢市の最北東部に位置した中山間地帯であり、この地域で5集落が保全会に加入している。現在、ほ場整備後の年数の経過に伴い施設の老朽化、農業従事者の高齢化や担い手不足など多くの課題があるものの、農業者と自治会との連携を図り、農地や水を守る効果の高い活動を行っている。

○活動内容等

5集落が、それぞれの地域に似合ったハード事業やソフト事業と幅広い活動をしており、特に佐山地区においては、農用地の畑の割合が高く、特有の土壌を活かしたゴボウ作りが盛んであり、地域ブランド「美東ごぼう」として確立している。

○効果

この事業を通じ、農業従事者と自治会との連携の強化や景観活動等を通じ、環境に対する意識の向上及び地域への愛着が強くなってきている。

○将来の展望

この地域においては、未加入の集落もあるが、地域全体で、本対策を有効活用し、更なる発展と世代を超えた情報交換などを行う中で、担い手の育成や後継者の確保を進め、地域の環境保全の活動に取り組みたい。



関係強化を図った活動展開

○組織名:大田地域環境保全会

○位置:美祢市美東町大田地区(美祢市の東部に位置する)

○対象面積:122.4ha

○地域の現状

当地域は、美祢市の東部に位置した中山間地帯であり、この地域で6集落が保全会に加入している。現在、ほ場整備後の年数の経過に伴い施設の老朽化、農業従事者の高齢化や担い手不足など多くの課題があるものの、農業者と自治会との連携を図り、農地や水を守る効果の高い活動を行っている。

○活動内容等

6集落が、それぞれの地域に似合ったハード事業や農業従事者と自治会とが連携し、農地や水を守る質の高いソフト事業を展開している。

○効果

この事業を通じ、農業従事者と自治会との連携の強化や景観活動等を通じ、環境に対する意識の向上及び地域への愛着が強くなってきている。

○将来の展望

この地域においては、未加入の集落もあるが、地域全体で、本対策を有効活用し、更なる発展と世代を超えた情報交換などを行う中で、担い手の育成や後継者の確保を進め、地域の環境保全の活動に取り組みたい。



各班の住民が、その地域に則した事業内容を検討、協議、 決定及び協力し合い、地域の環境保全向上に努める

- 組織名：綾木地域環境保全会
- 位置：美祿市美東町綾木地区
(美祿市の最東部に位置する)
- 対象面積：176.41ha

○地域の現状

当地域は、12集落あり(内住宅団地)その内、9集落が保全会に加入しています。
加入戸数は9集落163戸で、受ける支援交付金額は単年度で約770万円です。

○活動内容等

9集落が、それぞれの地域に似合ったハード面の事業(農道の舗装工事、花壇設置工事等々)やソフト面の事業(先進地研修視察、危険箇所の点検等)と幅広い活動をしております。

○効果

地域住民が自分たちの集落は自分たちで守り、良くしていく気運が大変盛り上がり、強くなってきました。

○将来の展望

現在9集落が活動しているが、情報交換をしあい、活動の内容を深めていきたい。さらに、残り2集落も取り組むよう、勧めていきたいと思います。

この事業は、大変よい事業でありますので、国、県に特に要望したい事は、今後も継続していただきたいし、支援交付金額を増やしていただきたい。節をお願いします。



地域みんなで「ふるさと景観」を守ろう！

○組織名：真長田地域環境保全会

○位置：美祢市美東町真長田地区

(美祢市の南東部に位置する)

○対象面積：149.7ha

○地域の現状

当地域は、美祢市の東部に位置した中山間地帯であり、この地域で11集落が保全会に加入している。現在、ほ場整備後の年数の経過に伴い施設の老朽化、農業従事者の高齢化や担い手不足など多くの課題があるものの、農業者と自治会との連携を図り、農地や水を守る効果の高い活動を行っている。

○活動内容等

11集落が、それぞれの地域に似合ったハード事業や農業従事者と自治会とが連携し、農地や水を守る質の高いソフト事業を展開している。

○効果

この事業を通じ、農業従事者と自治会との連携の強化や景観活動等を通じ、環境に対する意識の向上及び地域への愛着が強くなってきている。

○将来の展望

この地域においては、未加入の集落もあるが、地域全体で、本対策を有効活用し、更なる発展と世代を超えた情報交換などを行う中で、担い手の育成や後継者の確保を進め、地域の環境保全の活動に取り組みたい。



次世代へしっかり手渡す河原田の里

組織名 かわはらだかんきょうほぜんかい
河原田環境保全会

位置： 山陽小野田市 対象面積 34.9ha

◆ 地域の現状等

旧小野田市南西部に位置する当会は、山の中の溜池から河川を経ての圃場による稲作地帯である。児童は、高泊小学校に通学しており、本会の会員とも顔見知りの関係にあり、学校、児童、地域住民等全てにわたり恵まれた環境にある。



◆ 活動内容等

春季、田植え以前に休耕田の草刈りや耕転、更には水路確保のための溝普請や溜池の土手の草刈りをしている。

夏期、台風などの異常気象の見回りや小学校への環境保全作品募集、コスモス田の作業や植付けなどを行っている。

秋冬期、小学児童と共にコスモスマつりをしたり、水路の確保に木の伐採や溜池周辺の草刈り、更には農道の整備をしている。



◆ 効果

- ① 取組前には小学校に対して「児童に対する指導のお願い」(主として田んぼに対するいたずらの予防)をするだけであったのが、環境保全に対する取り組みの作品募集やコスモスマつりの実施など本会から積極的に行事を企画していくようになった。
- ② 休耕田の解消に交付金をあてて、荒地が少なくなってきた。
- ③ 水利組合の役員たちに、活動の重要性の理解を得る機会が多くなった。



◆ 将来の展望

現在の補助金の制度が維持されれば荒れ地の狭小には役立つが、廃止になると荒れ地により雑草や害虫の害による被害が増大し、ひいては農作の作付けをする者が減ってくる。更には、作付け継続者は更なる困窮のこととなる。



「活気あふれる」集落をめざして

組織名 鳥越地域環境保全会

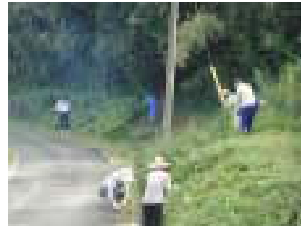
位置:山陽小野田市郡地区 対象面積:14ha

◆ 地域の現状

当地区は、山陽小野田市の南部地区にあり、昔ながらの兼業農家の多い小集落であり、現在は少子高齢化が進み、大規模農業も集団営農も難しい現状ですが、平成21年度より何とか地域を守る目的で、集落全体で連携し環境保全に取り組んでいます。

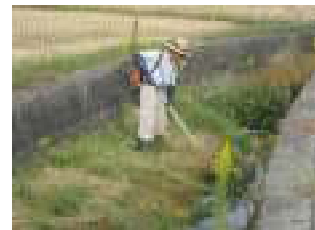
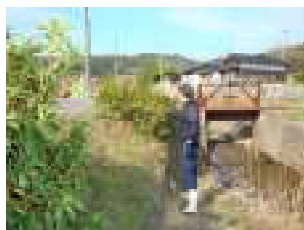
◆ 活動内容

鳥越水利組合が管理運営する2つのため池と鳥越川水系を主体に管理・運営を行っており、自治会・子ども会など地域の団体が協力し水資源の保全。環境美化に取り組む、未来に農村の素晴らしさを残したいと頑張っています。



◆ 効果

例年行っていました道普請が環境保全も考えて取り込むようになり、鳥越川水系の環境整備も進み、地域のみなさんが環境について多少なりとも興味・理解をするようになり、地域の農道・水系にもゴミがなくなり安心して子どもたちが遊べる環境が整いつつあります。



◆ 将来の展望

本事業が今後も継続可能であるなら、地域の将来と環境に多大なる効果が発揮でき、安心して過ごせるふるさと環境整備活動を地域全体で取り組みたいと思っています。

集落沿線の環境美化

組織名 とうごうかんきょうほぜんかい
東郷環境保全会

位置： 山陽小野田市津布田

対象面積 6.84ha

◆ 地域の現状等

国道190号線沿線の旧産炭地附近にあります。

◆ 活動内容等

一丁目水利組合、3つのため池を利用するため、水路の管理清掃を行っています。

又、老人クラブが花壇を作り、地域の美化につとめています。

農道の点検補修を行っています。

◆ 効果

最初は役員主体で作業をしていましたが、反省会で出来るだけ多くの人で作業しようと声が出てきました。

◆ 将来の展望

きれいな水で、「おいしい米、野菜を」作ります。



地域ぐるみで農地・水を守る

うべしおのちいきかんきょうほぜんかい
組織名 宇部市小野地域環境保全会

◆ 地域の現状等

圃場整備後18年が経過、農道や水路の一部に改修の必要あり。
「ほたる」の発生により生態系保全には関心が高く、「ほたる」の生態観察(子供会中心)や、6月には自治会による「ほたる祭り」や「ほたる鑑賞会」を開催している。

◆ 活動内容等

土地改良区や水利組合を中心に、自治会(子供会を含む)全体で地区内の農地保全や花壇の設置など環境整備に取り組んでいる。

◆ 効果

1. 農道の整備(個人から共同作業)
2. 花壇の設置(新しく子供会と共同作業)



◆ 将来の展望

(課題)

- 1) 農業従事者の高齢化による担い手不足
- 2) 農地の維持管理

「活気と心いやされる里」を残そう厚東!!

組織名 厚東地域環境保全会

位置： 宇部市厚東

対象面積：182 ha

◆地域の現状

圃場整備事業完了面積約80 ha で対象面積の44%である。新規就農者はほとんど無く、高齢化と高齢による離農が著しい。このような状況で、圃場整備が行われていない圃場の耕作放棄を発生させないよう頑張っている。平成19年度から始まった対策を活用し、非農家の協力も得ながら、用水路農道等の整備を行い、地域保全に取り組んでいる。



◆活動内容

水利組合が溜池・揚水ポンプ施設の維持管理及び用水路各堰の管理、農事組合が農地・農道の管理、自治会は、各組合と連携し、主として環境美化保全等を行っており、農地・水・環境保全向上の対策に取り組んでいる。



◆効果

高齢化や後継者不足で圃場整備が行われない圃場では、耕作放棄が進んでいたが、この対策に、平成19年度から加入し、用水路・農道等においては応急処置的対応から、長寿命的対応になった。また、実際に活動していくにつれ、農業者だけではなく、地域の住民全体で参加するようになっていく。さらに、環境保全の一環として、ほたるの里と景観づくりとして、菜の花・コスモス畑等の効果が得られている。



◆将来の展望

今後の対策を発展的に展開していく事により、耕作放棄地を抑制し、『地域に活気をもたらし心癒される里』作りを目指し、空き地を整備し、休息場所を設置し、農道や山道を利用した遊歩道を確保したい。そのためにも継続した本対策が必要不可欠で、長期的な支援を願う。



連帯意識の高揚で、住みよい農村地域をつくろう

き だ かんきょうほぜんかい
組織名 木田環境保全会

位置:宇部市木田 対象面積:22.3ha

◆ 地域の現状

当地区は、平成13年に圃場整備事業が完了したが、高齢化と後継者不足による耕作放棄に対応するため、営農組織を立ち上げて農地を集積した。この結果、圃場を預けた農家は農業への関心度が低下し、同時に溝普請や草刈などの共同作業への参加者も減少しはじめた。

このため、平成19年からこの制度を活用して、農家・非農家が共同で地域の環境保全に取り組んでいる。

◆ 活動内容

用水路の草刈りや農道の砂利補充などの共同作業には、自治会にも参加を呼び掛けて、非農家と一緒に汗を流している。また、地元の児童や市街地の親子を対象に、水田と自然環境のかかわりについての勉強会やジャガイモの収穫体験等、農業への関心を高めもらうための活動にも取り組んでいる

◆ 効果

非農家と一緒に共同作業によって、農村環境の向上に対する地域の意識が高まり、農業用水と家庭雑排水の共用水路の清掃が毎月一回、農家・非農家の共同で行われるなど、連帯の輪が確実に広がり始めている。さらには、溜め池の機能を維持する必要性も共有することができ、管理道の修復や堤防の立木の伐採など、多人数の協力で整備が進んでいる。

◆ 将来の展望

地域の連帯意識を高め、農村環境を向上させるために自治会をはじめ、学校、婦人会などとの連携を強めて、共同作業や体験学習の場を広げたい。また、この活動によって地域のリーダーを育成し、住みよい農村地域を実現させたい。



次世代に渡す環境づくり

いまおのかんきょうほぜんかい
今小野環境保全会

会員世帯数27件、地区人口59名、65歳超比率56%、独居比率30%で構成されています。昭和58年に基盤整備を終えているものの設備の老朽化と人口減少に歯止めが掛からない中、『次世代に渡す環境づくり』をスローガンに農地・用水のあるべき姿を目指して活動を展開しています。

宇部市東吉部今小野地区



農業用水地草刈



空き缶拾い



景観地区種まき



農道修復整備



水路点検清掃

効果①
景観形成活動で土地活用のバランス感覚の変化（『こんな活用もあり』）

効果②
地域内交流の活性化（会う機会が増え前向きな発想に変化）

効果③
老朽設備の復元や用水・排水設備の修復に進展

活動報告

将来の展望

農地・用水保全に必要な活動を定着させるとともに次世代を担う人たちを取り込み持続可能な保全体制を整えていきたいと考えています

みんな 仲よく 楽しく 未来へ

組織名 岩滝環境保全会

位置： 宇部市万倉岩滝

対象面積： 10 ha

◆ 地域の現状等

宇部市北西部、山あい位置。

昔ながらの田園風景が広がり、水源のほとんどをため池に頼る。
高齢化、過疎化が進む。



◆ 活動内容等

最小限度の事業規模での活動のため、大がかりな活動はできませんが、単一集落としての、景観を維持する為の、年2～3回の共同活動(主に各施設の草刈り、機能診断、点検等)高い出席率で行っています。



◆ 効果

現状の認識と、あらためて将来の危機感を共通意識として持てる様になりました。



◆ 将来の展望

なんとか、今の現状と景観を維持できればと思います。
地域の交流もより密になればと思います。

高齢化社会(郷)はみんなの力で切り開こう

組織名 高千帆東部地域環境保全会

位置: 山陽小野田市 対象面積: 50 ha

◆ 地域の現状等

本地域は有帆川(二級河川)を石井牛頭首土堰で堰き止め、張りめぐらした水路を通して水の恵みを受け、稲作を中心に営農が行われていた地域です。同時に昭和60~62年にかけて、県営かんがい排水事業を実施し、米の増産に務めた地域もあります。

◆ 活動内容等

当環境保全会は、8支部から成り、1つのため池と石井牛頭首工水系を主体に農地を管理し、お互いに連携をしながら農地・水向上活動に努めています。しかし、農業の高齢化と担い手不足はどんどん進み、既存の農業施設の維持管理は出来ず、自治会等の協力を得て地域の環境向上活動を実施しています。

◆ 効果

近年、混住化が進み家庭雑排水や水質の悪化、ヘドロ等の堆積により悪臭や川藻が繁茂し、水路としての機能低下を、農業者、非農業者をとわず直視し、地域全体で環境を守っていかうとする意識が高まってきたとおもわれる。



◆ 将来の展望

地域全体の生活環境保全会は、単に、縣市等の公共に頼ると云うことではなく、自らも汗をかいて身近にできると云うこの事業を継続し、残された部分を是非実現したいです。

「ため池の水の恵みに心は一つ」

組織名 えじおすいけいみどりかい
江汐水系美土里会

位置 山陽小野田市高千帆地区 対象面積 53ha

◆地域の現状等

当地区は江汐湖を代表として、ほかに4ヶ所のため池を有しており、ため池を利用した稲作が中心に発展した農村地帯です。最盛期には 120ha の田畑を潤すため池として、現在でもその恩恵を受けています。

(昔より地域の方は、このため池群を総称して5ヶ所ため池と呼んでいます。)

近年この地域にも市街化がすすみ田圃が宅地に変わり、アパートが立ち、また高齢化が進み不作付地や耕作放棄地が増えつつ有ります。

◆活動内容

当会は、ため池を利用する流域の8自治会で構成し、ため池の堰堤や法面の草刈及び点検、水路、農道の点検草刈を主に行っています。会の構成員は、自治会長、農事組合長、水利部長、土地改良区理事、また子供会、老人クラブ等で地域の環境美化活動に活躍しています。



◆効果

水系流域の自治会による、溝普請や道普請は以前と比べると連帯感が深まり、互いに競争意識が働き環境美化に良い結果が出ています。

また休耕田を活用した、田圃アートや花いっぱい運動の環境美化運動は、取り組み以前にはなかった子供会、老人クラブ等の連携した活動は、自治会内の環境に対する意識向上に役立ちました。

◆将来の展望

今後はこの施策が継続されることを希望するとともに、若手の指導者を育成して水路や農道の維持管理や環境美化、農地の保全に取り組みたいと思います。

計画的な取組みで「人も機会も長寿命！」

うしろがたほぜんかい

組織名 後 潟 保 全 会

位置: 山陽小野田市大字西高泊 対象面積: 75.7 ha

◆ 地域の現状

私たちの地域は、山陽小野田市の後潟開作と黒崎開作の二つの干拓地で水稲に特化した農業を行っています。当地域の半分は圃場整備が完了して近代化・省力化が図られているものの、未整備地区は大型農業機械の導入もままならず、非効率的な農業環境は農業従事者の高齢化とともに重要な問題であるとの認識が高まり、未整備地区のほ場整備事業実施に向けて現在活発に活動中です。

◆ 活動内容

農業者と土地改良区が主体となって、平成 19 年度より農地・水・環境保全対策に取り組んでいます。農業施設、特に水路に関する改修・保全作業に重点をおいて、農業者や水利組合と協議を重ねて活動を推進するとともに、自治会や子供会等と連携して地域の良好な景観形成の活動を推進しています。



◆ 効果

本活動への取組みで、崩れかけた泥の水路や狭くて雨が降ると溢れていた水路が整備された水路になりました。また、地域の子供会や老人会と連携して、幹線水路傍の農道 1500 メートルにスイセンを植える作業を行い、春先に可憐な白い花を楽しめるフラワーロードの景観をみんなで楽しんでいます。本活動による最大の効果は、「農業施設の保全に計画的に取り組むことが大切だ」という意識が会員に浸透したことです。設備・機械の点検や保全を定期的に行うことで「長寿命化」を図ろうという意識がみんなに高まったと思います。



◆ 将来の展望

当地域の農業活動を活発にしていくためには、農業者の生産意欲の向上とともに、農業環境の改善が必要です。平成 25 年度から予定されているほ場整備事業とともに、本対策を有効に活用することで農業環境はさらに改善・向上します。生き生きとして農業生産に取り組む農業者の姿が見られるようになれば、「農業に将来を託してみよう」という若者も現れ、後継者の問題も解決されることでしょう。そのためにも「農地・水・環境保全対策」の継続的な実施が望まれます。

集落営農と環境保全の両立

組織名 南高泊緑水会

位置： 山陽小野田市南高泊

対象面積： 60.3ha

◆ 地域の現状等

当地区は、基盤整備された大規模ほ場で、営農活動を行っています。
現在、施設の老朽化や維持管理の問題があります。H19年よりこの対策を利用し、地元自治会と協力し、施設の延命化や環境美化に取り組んでいます。

◆ 活動内容等

干拓農業組合が、ため池、水路、農道、および四つのポンプ場の運営管理し、組合員と自治会員が環境保全、美化の活動を行っています。

◆ 効果

取組前は、営農地域と自治会担当の地域、役割が完全にわかれておりましたが、この対策を活用することにより、農家、非農家が共同で水路掃除、ゴミ拾い、つつじの植栽など環境美化に取り組むようになり、地域の一体化が生まれました。

◆ 将来の展望

今後、この対策が継続されていくことにより、農地の保全のみでなく、農家、非農家、老若男女を問わず、この地域に愛着をもち、水と緑に囲まれた住みよい地域になるよう十分に活用していきたいと思います。



みどり豊かなふる里を次世代へ

おきがいさくみどりほぜんたい

組織名 沖開作水土里保全隊

位置：山陽小野田市沖開作

対象面積：50ha

◆地域の現状



平成19年7月組織設立、従来からの土地改良区、水利組合の両組織の役員が兼務で運営、農業者48人、役員9人、非農業者ほか8団体で活動しています。

当地区も高齢化、耕作放棄地等の諸問題をかかえていますが、できるだけ参加し易い環境づくりに務め、農地、環境の保全に取り組んでいます。

◆活動内容等

- ・4月総会で予算決算、事業計画をたて活動を実施している
- ・農道砂利補充（4月）
- ・水路掃除（5月、7月）



- ・5月は地域自治会員も参加
- ・溜池堤防の草木刈り（8月）
- ・施設点検テスト（5月）不良箇所は構成員で修理又は業者に補修依頼
- ・環境では溜池にEM菌を厚陽自然とりもどし隊が1回/月投入、水質改善に務めている
- ・基金造成を申請、実施中



◆効果

- ・基金造成資金で懸案事項であった土水路をU字溝に更新中で、漏水や水路の破損が減少した
- ・役員の高齢化は若返り、役員が積極的に活動するようになった
- ・事業計画が明確化され、徹底が容易になり、参加者が増加した
- ・地域住民の参加により、協力が得られるようになった
- ・諸施設の補修が計画的に無駄なくできるようになった
- ・諸施設の使用開始前のテストを実施するようになった



◆将来の展望



これからも、この活動を更に拡大実行し、農地や自然環境を守りたい。

また、本対策を有効利用して施設の長寿命化に取り組み、新たなリーダーも育成し、構成員と地域住民が協力して農村環境、施設の保全に努めたい。

地域の農地は地域で守ろう！

ふるがいきくかんたくのうちほぜん かい
組織名 古開作干拓農地保全の会

位置:山陽小野田市大字郡古開作干拓 対象面積: 51.2ha

◆ 地域の現状等

当地区は、今から160年前に築率された干拓です。現在、約50haの水田に、ヒノヒカリなどうるち米、もち米を作付しています。30年前に中央部を南北に流れる水路の改修を実施しましたが、当時からの土水路や農道等を現在もそのまま利用しています。最近、高齢化や担い手不足による急速な農業経営の圧迫が地域に不安をもたらしています。しかし、平成19年度より始まったこの向上対策のおかげで、農家や非農家が地域一体となり「農地を守ろう」、「地域を守ろう」との意識が芽生え積極的に保全活動に取り組んでいます。



◆ 活動内容等

当地区では、地主水利組合がため池と50haの水田を潤す1の樋、2の樋と高廻し水路の三水系を管理し、土地改良区が農地等の施設を管理していますが、土水路やため池堤体、揚水ポンプ等が老朽化し、維持管理も大変です。

そうした中、各組織は、19年度から始まった農地水環境保全国上対策事業に協働して、農地保全に取り組んでいます。

さらに、自治会の方々はもちろん、近くの保育園児たちも地域の環境美化や景観形成づくりに協力してくれています。



◆ 効果

柵渠による水路整備やため池周辺の植栽活動は、農業の多面的機能を維持しながら、地域住民への安らぎの場を提供でき、また、田植え・稲刈り体験などから身近な食の安全・安心を学び、農業に親しんでもらい、また、農耕文化を知る場としても効果が得られる。



◆ 将来の展望

今後、この向上対策をさらに積極的に展開していくことにより、「地域の農地は地域で守る」を合言葉に、新たな担い手が育つような環境づくりに努めたいと考えています。

また、当地区の農業施設が、四季折々の花を植栽することで、周辺地域の皆さんを巻き込んだ憩いの場として活用できればと考えています。

地域の環境はみんなで守ろう！

組織名 あさねたろうちいきかんきょうほぜんかい
厚狭寝太郎地域環境保全会

位置： 山陽小野田市厚狭 対象面積： 74ha

◆ 地域の現状等

当地区は、寝太郎堰の水系一円の対象農用地面積が74ha の地域です。現在、当地区では農業者が高齢化してきており、次の後継者の育成、遊休農地解消及び住民の環境に対する意識の低さが課題であると考えています。そこで、本対策を有効に利用して、農家・非農家を含め連携して環境保全に取り組んでいるところです。

◆ 活動内容等

寝太郎堰及び用水路の維持管理は、土地改良区と地元水利組合が行っており、水路の草刈や水路の泥上げ等の共同作業を構成員である自治会と水利組合が毎年定期的に行っています。また、子供会が中心となって、ゴミ・カン拾いを実施して地域住民等の交流活動にも取り組んでいます。

◆ 効果

水路の草刈や水路の泥上げ等の共同作業が定期的に行われることが定着してきました。また本対策により、水路では改修や土砂の除去、農道では砂利の補充等の整備で、水路、農道が改善されました。そして地域住民の環境に対する意識も高まってきたように思います。

◆ 将来の展望

これからも、本対策を有効に活用して水路の草刈や泥上げ等の共同作業を定期的に行い続けて実施してほしいと願っています。



先ずは「維持管理の強化！」 集落一体で守り、未来へつなげよう！

組織名 はざまがわみずけいほぜんかい 狭間川水系保全会チーム

位置：山陽小野田市（杣尻・殿町・野中・東下津・迫山地区） 対象面積：23ha

1. 地域の現状

当地区は、圃場整備も未整備で他地区と同様に高齢化の進展及び後継者不在等により、耕作放棄地も年々増加傾向にあり、今後地域の農地等農業環境の保全が大きな課題となっていました。また、この現状について農業従事者一人ひとりは何とかなくなくてはならないと思いはあるものの個人では小さなことでも対応は困難な事例が多く、問題解決につながらなかった。

平成19年度から始まった本事業を活用し、地域の農地・水・環境保全に少しでも資す

2. 活動内容

秋山ダムと荒草ため池を主体とした狭間川（はざまがわ）水系の農業水利利用者が中心となり、狭間川水系保全会を立ち上げました。

この保全会の立ち上げにより、従来一人ひとりが対応し解決出来なかった課題等を狭間川水系という広範囲の農業従事者が保全会の中で提起し、検討して解決に努めてまいりました。

具体的には、地域の農地保全と環境意識の向上のため、当該交付金により取得した自走式草刈機を活用した地域住民による荒廃地の草刈作業などを積極的に行うとともに、農業用水路等施設の点検を実施し、施設の維持管理に努め老朽化の防止を図りました。

また、幼稚園児、子供会等の参加による空き缶、ゴミ拾いなども実施し、地域の環境意識の向上に努めてまいりました。

このような共同活動は交付金を活用した保全会の立上げにより初めて可能となったものであると考えます。

定期会合



施設点検



荒廃地雑草刈り



水路清掃



地域住民で雑草刈り



自治会・子供会共同
缶・ゴミ拾い



3. 効果

近年の高齢化の進展は当該地区においても例外ではなく、年々耕作放棄地が増加し、農業従事者は自らが管理する農地の維持管理だけで精いっぱい状況で水路・農道・ため池等の農業を営む上で、必要な共有資産の維持管理までは手が回らない状況であった。

しかし、狭間川保全会が組織された後は、これらの共有財産の維持管理について組織的な取り組みが行われることが可能になり、現状の把握及び維持管理等少しずつではあるが課題に取り組む共通認識が出来るようになった。



啓蒙(PR)活動
農地周辺に看板設置

4. 将来の展望

今後、この事業をさらに活用し、地域の多くの皆さんに参加して頂くようPRを行い、地域の皆さんに喜んでいただける全員参加型の活動を広げてまいりたいと思います。



自分たちの地域は自分たちで守ろう

組織名 石東・不動寺原環境保全隊

位置： 山陽小野田市 対象面積 27.55ha

◆ 地域の現状等

当地区は、山陽小野田市の市街地から北へ約10kmの地点にあり、集落の西側を国道316号が南北に走っている平坦な地域で圃場整備事業は平成20年度に完了。現在は農事組合法人により営農が行われているが、高齢化と後継者難が深刻な課題である。

そこで、平成19年度から、本事業を有効に活用し、法人と集落が協働して「自分たちの地域は自分たちで守ろう」を合言葉に農地や環境の保全に取り組んでいる。



◆ 活動内容等

水利組合は、5つの溜池の管理と農業用水の適正な配合を行い、法人(営農組合)は、農家から預かった(利用権設定した)農地を経営、管理するなど連携して、農地・水向上活動を実践している。また、自治会や子供会は、地域内の美化など、農村環境の向上に努めている。

◆ 効果

自治会、子供会、水利組合、法人が協働活動することにより、地域内の親睦と融和が図られている。更には、地域全体で環境保全に努める意識や農業に関心も高まっている。また、圃場整備事業で創設したビオトープは水の大切さや、水生動物等に対する子供達の関心も深まっている。

◆ 将来の展望

今後共、この事業を継続することにより、地域内の親睦・融和・交流を深め、これからの農村や食の安全、安心、更には地産地消に役立てることが出来ればと思う。

また、本事業を有効活用して、農地の保全、開水路の泥上げなどの農業用施設の継続管理、畦畔の草刈りなど定期的実施し、地域住民と共に環境の保全により一層取組みたい。

地域の風景を次世代の脳裡へ

組織名 くつやまだ ふくしょうじほぜんかい
沓山田・福正寺保全会

位置： 山陽小野田市厚狭 対象面積 30ha

◆ 地域の現状等

当地区は山陽本線厚狭駅より北へ3～4kmに位置し、県営圃場整備事業によって圃場が整備されております。2自治会に会員、3農事組合の組合員が構成員(50名)となり活動を行っております。地区内では2世代同居の家庭が多くありますが活動する構成員の年齢が65歳以上の高齢者の比率が50%を超えて居りますので、今後は心配されます。

◆ 活動内容等

溜池、水路、農道等の草刈や補修については3農事組合がそれぞれ関係する施設を管理、保全を行っております。地域道の草刈、補修は関係する自治会、農事組合の構成員で管理保全を行って居る。環境向上活動は2自治会の老人会、子供会等と構成員が一緒になってカンやゴミ拾いを行い、美化の一環として農道や水路の側面にコスモスの植栽を行っております。

◆ 効果

昭和40年後半頃から地域道路の草刈や施設等の共同作業による管理保全の意識や気迫が減少してきましたが、この制度の導入により自治会の全員が参加し今後の目標や活動方法を話し合う事により、地域住民の気持ちも向上し水路、農道の補修、危険施設の改修、地域道路、農道



側面の草刈等定期的に共同で実行する事ができました。また、老人会、子供会等の参加によりコスモスの植栽、カンやゴミ拾いなどを行う事により環境も良くなりました。

◆ 将来の展望

農村は自然と共に生活しておりますので、自然を崩さず私たちが気持ち良く生活出来る様にするには、地域が一体となって環境について話し合って実行する事が必要。老若を問わず、最善として残されて居る習慣や決めごと等を話し合える場(会食等)設け、生活環境の改善、地域の営農、地域の運営等ついて気兼ねなく話し合い、地域の皆が助け合って守る事の必要性を共有したい。若者は国内、外国でおおいに活動し羽ばたいてもらいたい。しかし定年後は地域に帰って貰う様、生活環境、美しい風景を脳裡に植えつけられる様、勧めたい。

農業と生活を併せて守ろう

組織名 赤川・柳瀬地域環境保全組合

位置:山陽小野田市 対象面積: 25ha

山陽小野田市(旧 山陽町厚狭)厚狭川の上流川沿いに開けた同じ水系で結ばれる二つの集落が立ち上げた組合であり、予算執行は独立とし水系の保全については協議し水利組合を支援する。

◆ 地域の現状等

農地面積田畑合わせて約25[㍊]、荒地なし。水利に恵まれ水田耕作に最適。但し高齢化が進み見通しは暗い。今は何とか持ちこたえているが、若い優秀な人材は外に流れ、それらの人材が定年後集落に還流するまで何とか持ちこたえる必要がある。

◆ 活動内容等

この組織を立ち上げ、毎年農業インフラ整備に努め、少ない金額ながら今まで手付かずの小規模な改修と修理をしながら多少余裕が出来て最終の2年で将来の直接支援(テイフ・フレアの植栽)を手掛け1年目は2000[㍊]、最終23年度も同面積を確保出来る予定に漕ぎつけた。それと並行して単年度に1台ずつ計2台のロタリーモーターを導入して省力化、共同利用箇所(高い農道法面、水路の法面の保護と高齢者作業の安全確保)両立できる施策ができた。又、地形的に恵まれ、猪防御対策1600m。万全化を完了し農作物の被害皆無とした。自治会総力でセイタカアワダチ草の駆除に取り組み黄色の花は見かけない状況である。その他の特徴は、ため池の整備として草魚を放流し浮き草、藻の繁殖を防ぎ、水質の浄化を図ると共に、配水口の目詰まり防止と菱の実が流出拡散するのを防止するため、試行中である。

◆ 効果

少ない予算ではあるが皆の協力、知恵と汗で農業インフラ整備と集落の環境整備は充分とは行かないが、可成の効果はあった。但し、異常気象による水害の小規模の復旧作業に手を焼き経費がかさみ、大規模の補修は、公的補助で切り抜かれるが、小規模復旧工事には、労力と金が掛かる。その労力の提供が高齢化で困難に成りつつある。

◆ 将来の展望

少子高齢化は何処も同じ日本の現象であるが、特に就農者の減少は歯止めが掛からない。民主党の掲げる、農業所得保財源の問題で永続的に？規模拡大、担い手の育成とお題目を唱えても、人が居なければどうにも成らない。

今から5年前に、集落営農の法人化について勉強会を立ち上げ毎週1回、6ヶ月開いたが、数軒の反対により断念した。特に80代の高齢者の反対で、説明するが耳が遠く、理解させるのは至難の業、書いた説明書読まず、心此処にあらざれば聞いてもきこえず見ても見えず。頭から反対であり、少ない戸数が賛成派と反対派と分裂するのを避けるため断念せざるを得なかった。この組織を立ち上げ、組織化のメリットが多少理解出来る様になりつつあり、時の経過を待つより仕方無しと言った処なり。(高齢化による弱体化を待つ間に当方が高齢化に到達してしまう)

いずれにしても、高齢化に歯止めがかからず、農地が荒れるのは間違いなし、集落営農に活路を見出すより路はない。外部からの耕作者に一部任せれど無責任な耕作で共同作用もままならず、耕作地は荒れつつあり。自分達の土地は自分達で守る熱意に尽きる。先は暗い。



“きれいな自然”をつなげよう

組織名 福田地域資源保全会

位置： 山陽小野田市福田

対象面積： 37.32ha

◆ 地域の現状等

当地区は、昭和57年に圃場整備事業を完了し、続いて主に水稻の機械作業を受託する営農組合が設置され、更には平成3年に農業集落排水事業が完了した地域です。しかしながら高齢化等により農地の遊休地が年々増えてきており、地域の深刻な課題であると考えております。そこで、平成19年度よりこの対策を有効に活用して、農家・非農家を含め連携をとりながら、地域保全に取り組んでいます。

◆ 活動内容等

前場川水系を主体に水利組合5つで管理しており、農地は主に営農組合が管理など行っており、それぞれが連携し農地・水向上活動を実施しています。また、自治会・老人クラブ・子供会等が地域の環境・美化を守るために、農村環境向上活動を実施しています。

◆ 効果

非農家が少ない地域ですが、生活排水が環境を変えることに懸念し、集落全戸で生活排水の水洗化に取り組むなど、自然環境については以前から熱心に取り組んできており、これに自治会・子供会・老人クラブが連携することによりますます農地・農業用水等の資源を適切に管理し、並びにこれらの資源の長寿命化及び農村環境の保全に資する取り組みを実施、集落機能の活性化が得られました。



◆ 将来の展望

地域の活性化には人が集まる場所があり、世代を超えた地域の方々が気楽に意見が出る環境を作らなければなりません。これからも、自治会・老人会・子供会等が連携して遊休農地等を活用した景観づくりやきれいな川を維持し、ますます虫が増える地域を目指して行きたいと思っています。

平沼田地域の活性化

組織名 ひらんたちいき かんきょう まも かい
平沼田地域の環境を守る会

位置： 山陽小野田市平沼田

対象面積： 18 ha

◆ 地域の現状等

農地農業用水等の資源や農村環境の良好な保全と質的向上を図り、地元自治会はもとより竹林ボランティア平沼田の組織を立ち上げ外部からの非農業者の協力を得て地域の活性化を図る。

◆ 活動内容等

最初は荒れていた竹林でしたが、美祿農林の協力のもとに竹林を整備しました。次の年には竹炭窯を作り、年2～3回炭を作っています。



◆ 将来の展望

今後は農地の法人化をして高齢化、過疎化に歯止めをしたい。

みんなで考え、未来へつなごう、川上地区

組織名 いっしんきげん かい
一新紀元の会

位置： 山陽小野田市北部

対象面積： 21 ha

◆ 地域の現状等

高齢化が進み、5年～10年後には、農村社会を維持していくことが、困難となっている。



◆ 活動内容等

一新紀元の会では、農地の荒れている所、又都市に出て不在で、圃場の荒れている所。また農道等は共同作業をする様に声をかけて実施している。

◆ 効果

私達の取組みの効果とは言えないが、この地区の農地を集積して法人化することとなった。農地を共同の仕事場と考えることは、大変な進歩かもしれない。

◆ 将来の展望

次の若い世代を育てないと、また高齢化が進む。農業が若い人の夢となると良い。